



広田小6年生

議会を学ぶ

広田小学校の6年生16人は5月29日、陸前高田市議会を訪れました。これは社会科学習の一環として企画されたもので、及川修一議長をゲストティーチャー（講師役）に、市議会の仕事や役割について学びました。

授業は本会議場で行われ、児童は普段入ることのない議場の雰囲気や議員の氏名標に書かれた自分の名前を前に興味津々の様子を見せていました。議長は、市議会の役割

について、市長が提案した施策や予算が「本当に市民のためになるか」「税金が適切に使われているか」を審査・チェックすることだと説明しました。また、総務、教育民生、産業建設の3つの常任委員会の仕組みについても紹介し、児童たちは熱心にメモを取りながら耳を傾けていました。さらに、最近の議会の成果として、雨の日でも遊べる「夢アリーナたかた」への遊具設置をはじめ、津波被災資料の復旧・保存を継続するための国への要望活動、そしてこどもたちが健やかに育つための指針となる「陸前高田市こども基本条例」の制定などを紹介しました。

問 なぜ議員になろうと思ったのですか。
答 市内にもっとお店が増え、働く場所も増えてほしいという思いがありました。議員になれば、そのような市民の声を直接市長や市に届け、まちを良くすることができると考えたからです。
問 仕事で一番大変なことは何ですか。
答 1年365日、常に議員としての責任があ



らの活発なやり取りが行われました。

児童の
及川議長への質疑

れしかった」「僕も陸前高田のために協力したいことがたくさんあるので、何か協力してみたい」といった前向きな声が聞かれました。

最後に議長は、「選挙権は18歳からですが、皆さんもすでにまちづくりの一員です。今日のうちに自分の考えや意見を伝え続けることが、まちを変える力になります」と呼びかけ、今後ともまちづくりへの関心を深めてほしいと期待を寄せました。

陸前高田市議会では、今後も学校からの要請に応じて、市議会の役割や議会活動について理解を深めてもらうための取り組みを進めていきます。

問 焼肉や回転寿司のチェーン店を増やしてほしいです。
答 私も同感です。私も時々、隣町まで食へに行っています（笑）。
質疑応答の後には児童から感想が述べられ、「このような場所にきたのは初めてなので、本当にう

